

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2020No.196】（HP 収載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

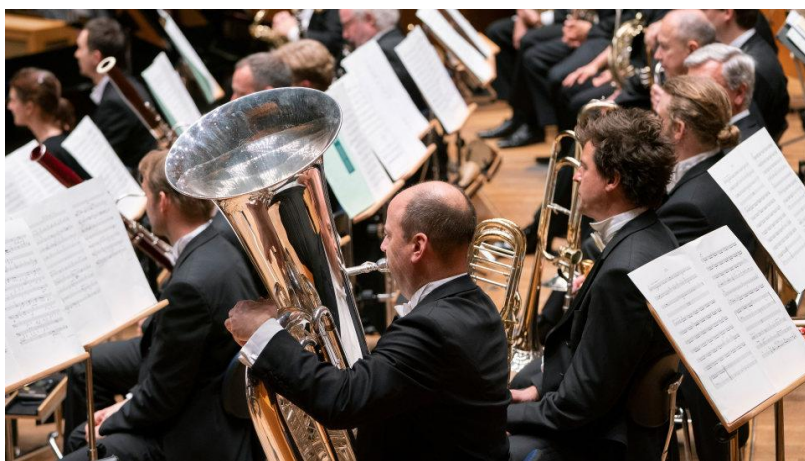
作曲家：モデスト・ムソルグスキー

曲名：《展覧会の絵》（エルガー・ハワースによる編曲版）

演奏：トーマス・グッガイス指揮ベルリンフィルの金管楽器奏者と打楽器奏者たち

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53590>

2020年11月22日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ベルリンフィル金管楽器奏者と打楽器奏者との音楽の旅というプログラム構成です。

上記の他、下記の解説と演奏がありました。

シュファン・ドールによる楽曲解説

シュテファン・ドール

アーロン・コーブランド ジョーン・タワー

《市民のためのファンファーレ》

《非凡な女のためのファンファーレ》

周文中《ビクシュニーの独白》

アンドレ・ジョリヴェ フルートと打楽器のための協奏的組曲

エマニュエル・パユ (フルート)

いずれも打楽器と金管楽器が活躍する曲ばかりで迫力満点の演奏です。特に、コーブランドの《市民のためのファンファーレ》は、ティンパニやグランカッサとチューバがこれでもかというように迫ってきます。

フルートと打楽器のための協奏的組曲では、通常のオーケストラでは見かけない打楽器やフルートの一種も効果的に使われていました。

《展覧会の絵》(エルガー・ハワースによる編曲版)は、エルガー・ハワース自身が指揮するフィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルのアナログ盤を持っていますので聴き比べてみました。ZANDEN Model120の再生条件は、ZANDENのリストとジャケットのクレジットを頼りにDECCAの逆相、第4時定数はHighで再生しました。BPODCHも最新の収録でリアルそのものですが、アナログ盤の方も鮮度が高く、いずれおとらぬ迫力満点の再生パフォーマンスを示しました。

以上